

学校だより

やさしさと 笑顔でつなぐ 松原っ子



# まつばら

令和3年度  
第5号  
令和3年8月27日  
草加市立松原小学校

## オリンピック開催の光と影

校長 中村 哲也

2学期が始まり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。夏休みはいかがでしたか。今年も新型コロナウイルスの影響で思う存分、夏を満喫することは難しかったですね。まつばらっ子の皆さんは、事故等の報告もなく、きっとステイホームで有意義な時間を過ごされたのではないのでしょうか。

さて、夏休み中にオリンピックがこの日本で開催されました。世界の国々から選手が出場し、競技を通して私たちに多くの感動を与えてくれました。個人的には体操の内村選手を応援していました。残念な結果にはなってしまいましたが、競技後のコメントに、全身全霊で一つのことに打ち込み、努力を重ねてきた人だけが語れる言葉の重みと強さを感じ、大きく心を揺さぶられました。現在ではパラリンピックが行われ、熱戦が繰り広げられています。

そんなたくさんの方々の感動を見せてくれた大会ではありましたが、残念な側面が大きく露呈してしまったオリンピックでもありました。前大会委員長の女性軽視発言に始まり、実行委員長の女性芸能人の容姿を侮辱した発言、演出担当の某ミュージシャンによる身体に障がいを持つ方々へのいじめ(もはや犯罪)、ユダヤ人虐殺を揶揄したコメディアン等、開催直前でも続々と辞任に追い込まれるという、とても恥ずかしい事態が起きてしまいました。また、つい先日には非常に影響力のあるインフルエンサーが、障がいを持つ方やホームレスの方々の生命を軽んじ、攻撃を示唆するような YOUTUBE 配信を行う等、これもまた非常に驚かされ怒りを覚えました。これらのことは、個人の人権を尊重する社会において、すべて許されるものではなく、子どもの鏡である大人たちのこのような醜態にとっても心が痛みました。と同時に学校が担う人権教育の重要性を痛感しました。先月号の巻頭言にも記しましたが、「人はみな違い、それらはすべて貴重」「生命は一つしかなく、お互いにそれを尊重しなければならない」「自分と違うものを排除するのではなく、協調してより大きな力とする」ことのできる子どもたちを社会に送り出すことが学校の大きな使命であると考えています。わたくしたち教職員も常に人権感覚を磨き、子どもたちの範となれるよう努力していきます。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

### 緊急事態宣言が9月12日(日)まで延長

感染者の人数が過去最高という話が連日、続いています。小中学生の感染も増加している事も報道されています。児童を守るため、今後も感染対策を強化し、学びを継続していきます。

- ①発熱等風邪症状が見られる時は、登校を控える。
- ②家族の体調が悪い時も、登校を控える。
- ③登校後、具合が悪くなった時は、兄弟姉妹も早退する。
- ④家族が濃厚接触者になったり、陽性の結果が出たりした時も登校を控える。

上記のことがありましたら、すぐに学校まで連絡をしてください。これまでと同様、出席停止になります。

感染が収束するまで、我慢が続きますが、改めてご理解、ご協力をお願いいたします。